



広報のと  
第181号

令和2年3月1日発行

発行：能登町 ■編集：総務課  
〒927-1049-2  
石川県鳳珠郡能登町宇出津卜字50番地1

TEL：0768-62-11000(内)  
能登町 URL：https://www.town.noto.lg.jp  
Eメール：info@town.noto.lg.jp



受賞者を代表して謝辞を述べる  
中町真澄さん（能登高）

能登町スポーツ表彰式  
2月18日：能登町役場2階大集会場

その十二

のよちよちの

## 歴史と文化のトピックス

### ■彼岸の供養と板碑

日本の風習として、「お彼岸」にお墓参りに行くというものがあります。お彼岸は3月の春分前後と9月の秋分前後の2回あり、各地でお墓参りに赴く人々の姿がみられます。こうしたお墓参り、つまり「先祖供養」はいつから始まったのでしょうか。これにはいくつかの説がありますが、町内では中世（平安時代末期～戦国時代）に先祖供養がおこなわれていたことを示すものが残されています。それが「板碑」と呼ばれる石碑で、板石（または角柱）に梵



- ① 柏木出土板碑：右は宝篋印塔、左は梵字が刻まれている板碑
- ② 松波神社の方錐型陽刻板碑：方錐型で地藏菩薩が刻まれている板碑
- ③ 八幡神社の五輪塔陽刻板碑（上長尾）：五輪塔が刻まれている板碑

町教育委員会事務局 ☎ 62-8537

字（仏教の仏を示す文字）や五輪塔（丸、四角、三角などの石を組み合わせた墓石）が彫刻されています。現在、町指定文化財としては5件ありますが、未指定のものを含めると10数件存在しているようです。板碑は墓石としても使用されていますが、主に亡くなった人物の回忌の際に親族が供養（地獄へ落ちず、天国で幸せに暮らしてほしいと祈る）のために造ったものといわれています。もともと、鎌倉時代に関東で生まれ、町内では室町時代に造られたものが多く残されています。

## 町で当地ナンバーのデザインが決まりました

1月24日、役場3階応接会議室において、原動機付自転車（50cc未満）用のご当地ナンバープレートが披露されました。24点の応募があり、キリコのとキリシマツツジが描かれた白崎ひとみさん（当日）のデザインが採用されました。ご当地ナンバープレートへの交換は、4月1日以降、税務課や各支所窓口で受け付けます。

税務課 ☎ 62-8518



最優秀賞を受賞した白崎さん（右）

### 新規登録の方

ご当地ナンバーが従来のナンバーかを選べます。

### すでに登録している方

希望される場合はご当地ナンバーへ交換できます。

※ナンバーの交換は無料です。標識番号は受付順となり、番号指定はできません。



ご当地ナンバーのイメージ



「広報のと」3月号の印刷費は一部当たり30円です。



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています。E3PA：環境保護印刷推進協議会